



富山県カンボジア王国親善協会

事務局・富山市小中163番地

阪神化成工業株式会社内

T076-429-1865 F429-6042

発行責任者 中山 隆

事務局担当 石黒 美和

ご挨拶

富山県カンボジア王国親善協会 会長 高田順一

富山市内の街路樹の緑が鮮やかに輝く季節となりましたが、皆様には益々ご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は富山県カンボジア王国親善協会の運営に対し格別の御協力をいただきまことにありがとうございます。お陰様で第10回の総会を開催する運びとなりました。

さて、富山県とカンボジア王国との友好親善を推進する目的を持って発足した当協会ですが、今迄に多くの他県の皆様にも参加していただきました。

愛知県豊橋市のライオンズクラブの皆様は私達と一緒にカンボジアを訪問し、現地の子供さん達と交流する事で学校建設の事業に取りかかり、その後も継続していらっしゃいます。

福井市のライオンズクラブは創立時から海外支援活動に関わりたと思っていましたが、当協会の高岸副会長の紹介で当協会の活動に参加していただきました。一昨年の青少年ホームステイ事業のホストファミリーとして男子学生を引き受けていただきました。その後、当協会の理事として運営に参加いただいております。こちらも昨年私達と一緒にカンボジアに行っていただき、小学校にトイレを建設し、図書等の教材を寄贈されています。

福井の皆様には独自の協会を立ち上げていただき、将来に渡って私達と連携してカンボジア王国との交流の幅を広めていきませんかと呼びかけをしているところです。

昨年の総会には新任のチア・キムター大使に来県賜り、総会に出席いただきました。

協会の創立に当たり何度か東京・赤坂にあるカンボジア大使館に伺いました。当時のプー・ソティレアッ大使には、第1回の総会に出席いただき、県内視察をしていただきました。又、第1回のカンボジア訪問の手配を自ら取り組んでいただきました。その際に同席していただいたのが当時の一等書記官だったチア・キムターさんです。昨年表敬訪問した時に私達のことを覚えていていただき、スムーズに打合せが出来ました。

私達を信頼していただき、富山に滞在中の事は全て任せていただきました。ご案内した五箇山合掌村では、「都会の喧騒から離れて、新緑に癒されました。こんなにリラックスできたのは本当に久しぶり。」と喜んでいただきました。

大使はドイツ大使館で活動された事もあり、ドイツ語にも長けていらっしゃいました。当協会の高井副会長の友人の谷野利一さんは英語、ドイツ語、スペイン語の通訳ができる方で、大使とはドイツ語で話されていました。谷野さんには歴代の大使の接遇やカンボジア訪問事業に協力していただき、独特の話術で場の雰囲気を和ませていただきました。その谷野さんがお亡くなりになったとお聞きし大変残念に思っております。

又、理事として協会の運営に携わっていただきました佐藤善政さんが先月御逝去されました。いつも柔らかな笑顔で私達に接していただいた佐藤さんの御冥福をお祈り申し上げます。

多くの皆さんの御協力、御支援をいただき、当協会は今年も活動を続けて参ります。皆様のご期待の沿える様運営に努めますので、何卒宜しく願い申し上げます。



第9回総会・大使歓迎晩餐会 H28.5.12

第9回総会及び大使歓迎晩餐会報告



平成28年5月12日、第9回総会及び大使歓迎晩餐会を富山第一ホテルにて開催いたしました。
当日は、在日本カンボジア王国大使館より、チア・キムター大使をお招きし、スピーチをしていただきました。
スピーチの内容をご紹介します。

チア・キムター大使おことば

在日本カンボジア王国特命全権大使 チア・キムター閣下

はじめに、貴国において、多数の死者や大きな被害を引き起こした熊本県大地震のニュースに接し、深い悲しみとともに震災に見舞われたご家族の皆さま方に心からのお悔やみと哀悼の詞を申し述べさせていただきます。

本日は、美しい富山市での富山県カンボジア王国親善協会の例年の夕食会に出席できることを大変うれしく、誇りとするところです。

また、友情や支援をいただいている富山県カンボジア王国親善協会からの心づくしのご招待をいただき心から感謝を表します。

2008年3月13日、富山県カンボジア王国親善協会が設立されたときのことが思い出されます。設立された同じ年、会長の高田氏がカンボジアを訪れられ、富山県の方々とカンボジア国民の親密な関係、とりわけ、カンボジアの事業や投資の機会を調査いただくなどカンボジアと富山の皆さまの相互の橋渡しをしていただいたことを忘れません。

富山県カンボジア王国親善協会も8周年となり、この8年間は、協会からカンボジアの学生が富山の皆さまのご家庭に訪問し、ホームステイする機会を与えていただくなど文化的・教育的活動をご支援いただいたことを思い、喜びとするところです。

これらのご好意に協会が遂行するすばらしい活動を促進し、また、二国間の相互理解を深める現在のよき関係を強くするため、人材分野、農業分野、文化教育分野のさらなる可能性を探索していきたく存じます。

カンボジア、日本の二国間の友情の強い絆は、2013年10月、二国間の外交関係が樹立し60周年の祝賀会を迎える間にも、新しいパートナーシップから戦略的パートナーシップへと拡大して以来、年々、歴史的にも、相互関係的にもさらなる広がりを見せ、育ってきたことを喜びとともに申し述べます。

今年、二つの重要な出来事がありました。それは、両国の強い絆への戦略的パートナーシップへの大きな役割を果たしました。

一番目に、3月29日、北九州市において行われた日本とカンボジアが首都プノンペンと北九州市の友好都市の調印です。

二番目に、ANAが2016年9月1日、初めて東京国際空港からプノンペンまでの直行便を就航することです。

私は、これらの二つの出来事が人と人との交流や経済開発の活性化に好機を促進し、増大せしめるものと心から確信しております。

最後に、特にカンボジア王府やカンボジア国民に代わり、日本政府、そしてカンボジアの基礎を築き、経済発展をもたらす技術援助、復興援助にかかわっていただいている皆様に心からの謝意を申し述べたく存じます。

結びのご挨拶の前に、富山県カンボジア王国親善協会と本日ご臨席いただいたすべての来賓の皆様に感謝し、皆様のご多幸、ご健勝、そしてますますのご発展をご祈念申し上げます。

ありがとうございました。

チア・キムター大使 富山県ご訪問日程表

● 5月12日(木)

	項目	時間(入)	時間(出)	移動	面会者	備考
1	東京駅発	9:20				北陸新幹線(かがやき507号)
2	富山駅着	11:34				
3	第一ホテル着	11:50				
4	昼食	12:00				
5	富山県庁訪問	13:15	13:45	10分	石井県知事様	
6	富山市役所訪問	13:55	14:25	10分	今本副市長様	
7	北日本新聞社訪問	14:35	15:05	10分	島専務様	●当協会顧問
8	北陸電力本社訪問	15:15	15:45	30分	赤丸副社長様	●当協会顧問
9	タイワ精機訪問	16:15	16:55	30分	高井会長様	●当協会副会長
10	第一ホテル着(休憩)	17:25				
11	歓迎晩餐会開始	18:30				
12	歓迎晩餐会終了	20:30				
13	第一ホテル泊					

● 5月13日(金)

	項目	時間			面会者	備考
1	朝食					
2	第一ホテル発	9:00				
3	五箇山合掌村見学	10:00				ユネスコ世界遺産
4	フェルヴェール訪問	12:00			伊勢社長様	●当協会副会長
5	昼食	12:15				フェルヴェールにて会食
6	出発	13:15				
7	新高岡駅発	14:10				北陸新幹線(はくたか566号)
8	東京駅着	16:52				

<来県者>

H.E.Ambassador Chea Kimtha(チア・キムター)
Mr.Chhay Makara(チャイ・マカラ)

在日本カンボジア王国大使館 特命全権大使
一等書記官



ホームステイ受け入れ事業

CJCC選考
訪日応募作文

富山県で学びたいこと



オック・ロタナー

私は王立プノンペン大学外国語学部日本語学科の三年生のオック・ロタナーと申します。素晴らしい富山ホームステイに関しての発表に出席して、とても感心しました。それは美しく素晴らしい地方へ旅ができるだけでなく、このプログラムは市民の家庭でのホームステイなどいろいろなプログラムも含まれ、いい経験になると思うわけです。そしてこのプログラムに応募したいと思います。応募した目的は三つあります。

一つ目は、日本語は豊かな言葉と言われ、日本語学習者という私にとってはとても難しいと思います。そして日本人の考え方や気持ちの理解が必要だと思いますが、日本人と話す機会がありませんので、私の日本語能力があまり上達しないと思います。例えば、話すだけでなく、文章を書く時も、私はカンボジア人の考えで考えたまま書いたりすると、意味が分かってくれない時よく起きているので、困っています。ですから、このプログラムを通して日本人の考え方などを深く理解したいと思います。

二つ目は、回りの環境は皆ほとんどクメール語で会話をしているので、日本人に会う時、緊張しすぎたり、言ったら相手に自分の伝えたいことが分かってくれるかと心配したりして、なかなか話できません。それで、日本社会に接して日本人と話したいと思います。

三つ目は、日本のことを知っているのは本やニュースによって分かることで、日本に行って、日本のことを直接感じたり、日本の文化などを学んだりしたいです。そして、日本で学んだことを生かして日本についての知識を広げたいと思います。

十日間はちょっと短いですが、とてもいい勉強になって、十分だと思えます。選ばれたら、このチャンスを有効に使って、できる限り学びたいと思います。帰ったら、日本での経験を後輩や日本のことに興味を持っている人に伝えたいと思います。

CJCC選考
訪日応募作文

富山県で学びたいこと



モウン・ソペアシリブトラ

富山県は日本の中で余り大きくない県ですが、その県庁所在地である富山市は、私の首都プノンペンの二倍ぐらいです。山と海に囲まれた自然が豊かな街に加えて、OECD報告書でコンパクトシティ先進都市として紹介されました。カンボジアは発展途上国です。そして私は外国に行った事がなく自分の国でも、訪れた所も少ないです。ですから、今度、日本の富山県、その先進都市に行けたら、学びたい事は山ほどあると思っています。

私が一番好きなのは日本語です。日本語を勉強したいなら、カンボジアでもできる。日本に行かなくても良いと思っていましたが、色々な日本人に会ってから気づきました。言語の勉強は言葉を勉強だけではなくその国の人達の文化や習慣や暮らしなどを理解すべきです。富山に行けたら、滞在している間、日本人の家に泊まる事ができ、短期ホームステイですが、日本人の日常生活がよく分かります。例えば、料理を作るのを手伝って料理を学んだり家の中の装飾を見てみたいです。昔、私は一つの記事を読みました。その中で「日本人の季節の楽しみ方」と書いてありますが、冬の和菓子は春に売らないということだけ書いてありました。それで、滞在できる間は、夏の終わり秋の初めですから、「その季節の楽しみ方」を本当に体験したいです。

富山県はガラスで有名だそうです。私は普通のガラスコップだと思っていましたが、それを調べてみたら、色々な形と色で造られたガラス工芸品に魅力を感じました。プログラムの中でガラス作品が製作できるので、本当に体験したいです。

帰国したら、日本で学んだ日本の文化や良い所を友達やクラスメートや家族に紹介して、日本が好きで日本に行きたい人を勇気づけて、日本語を勉強したい人を増やしたいです。

H28.8.26～H28.9.4

CJCC選考
訪日応募作文

富山県で学びたいこと



イアン・カニカー

日本を知りはじめたのは、子供のとき、いつもカンボジアの番組で日本のアニメを見たからです。クレヨンしんちゃんやドラえもんなどでした。とてもおもしろくて、大好きでした。私は日本語を勉強し始めました。CJCCでいろいろな文化のイベントがたくさんあって、日本文化がもっと知りたいので、そのイベントのボランティアをしました。日本の伝統的な踊りでした。今、私はCJCCで文化部門の仕事をしています。そして、CJCCで日本語も勉強しています。クラスの中で、日本語だけじゃなくて、日本の文化についても勉強しています。今、前より日本の文化をよく分かるようになりました。しかし、カンボジアにある日本の文化は、日本にある日本文化と違うと思います。だから、私は富山ホームステイプログラムに参加して、日本に行って、目で実際に日本の生活や文化などを体験したいです。

富山ホームステイプログラムの方とCJCCのおかげで、富山県に行くことができます。富山でしたいことは、日本人の大学生と交流会したいです。そして、日本の教育も知りたいですが、日本の小学校や中学校を見学したいです。それに、日本人の家族とホームステイをしたいです。日本人の習慣や文化や日常生活が分かるようになりますと思います。また、日本のイベントやお祭りにも参加してみたいです。富山の名物の食べ物を食べてみたいです。

富山県にいますとき、カンボジアの文化や習慣を紹介したいと思います。カンボジアで地雷が多い、戦争な国とイメージしている日本人が多いと思うので、カンボジアはすばらしい文化があると多くの日本人に知ってもらいたいです。

富山県での体験したことや勉強したことを私の人生にとっても大事なものです。日本で体験したことは後輩のボランティアや友達や家族にシェアしたいと思っています。例えば、日本人のマナー、日本文化、生活などです。

《ホームステイ生の選考について》

選考はCJCCに一任しております。
今年度はカンボジアで日本語を勉強している学生2名とCJCCの職員をしているイアン・カニカーさんを受け入れました。
富山ホームステイプログラムに17名の応募がありました。
まず、作文による書類選考で5名に絞られました。
その後、面接試験により2名が合格しました。

《ホームステイ生の紹介》

オック・ロタナーさん 女性 22歳

王立プノンペン大学 在学

得技: デザイン

趣味: 絵を描くこと、アニメを見ること

モウン・ソペアシリブトラさん 男性 20才

王立プノンペン大学 在学

得意科目: 中国語

趣味: アニメを見ること、読書、日本語を書くこと

イアン・カニカーさん 女性 22才

CJCC文化スタッフ

得技: 絵を描くこと

趣味: アニメを見ること、音楽、

いろいろなことを勉強すること

※カニカーさんはCJCCでホームステイ事業を計画しており、勉強の為に今回この事業に参加することになりました。

《CJCCについて》

カンボジア日本人材開発センター(CJCC)〈通称日本センター〉は、日本の知識や経験を活かしてカンボジアの市場経済化を促進し、市場経済化を担う実務人材あるいは地場の中小企業を主たるターゲットとした産業育成を担う人材を育成すること及びカンボジアと日本の相互理解を深めていくことを目的として2004年に設立されました。センターの建物は日本政府の無償資金協力によって王立プノンペン大学(RUPP)の構内に図書室・多目的ホール・和室・展示スペース等を備えた建物が2005年11月に完成し、「カンボジアにおける人材育成と情報発信・相互理解の拠点」として、今後ますます活発に事業が展開されていきます。

※原文のまま転記してあります。

平成28年度 富山県カンボジア王国親善協会ホームステイ日程表

平成28年8月26日(金)～9月4日(日)

日	曜日	午前	午後	ホームステイ宿泊先	
8/26	金	12:20 富山空港出迎え	14:00 阪神工場見学 14:45 受入れ家庭説明会	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	門前様宅 中山様宅 成田様宅
8/27	土	自由時間	18:00 歓迎会 富山自遊館 レストラン シャトー	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	門前様宅 中山様宅 成田様宅
8/28	日	9:00 立山バス観光	16:00 阪神化成工業 東側駐車場 到着・解散	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	門前様宅 中山様宅 成田様宅
8/29	月	11:00 富山市役所訪問 森市長	13:30 北日本新聞訪問 板倉社長 14:30 富山ガラス工房 ガラス作品制作	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	門前様宅 中山様宅 成田様宅
8/30	火	10:00 富山県中央植物園	13:00 茶道・華道体験 18:00 八尾おわら 前夜祭 東町	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	門前様宅 増山様宅 牧様宅
8/31	水	10:00 富山市科学博物館 12:00 フェルヴェール	13:00 高岡 瑞龍寺 16:00 スターバックスコーヒー 環水公園	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	高尾様宅 増山様宅 牧様宅
9/1	木	11:00 富山大学 人間発達学部	14:00 タイワ精機 見学 餅つき	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	高尾様宅 増山様宅 牧様宅
9/2	金	10:00 魚津水族館	13:00 宮崎海岸 18:00 送別会 富山第一ホテル 白楽天	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	高尾様宅 増山様宅 牧様宅
9/3	土	8:30 大泉中学運動会見学 セントラム乗車	13:00 ファボーレ 買い物	モウン・ソペアシリプトラ オック・ロタナー イアン・カニカー	高尾様宅 増山様宅 牧様宅
9/4	日	10:00 富山空港見送り			

ホームステイ受け入れ事業 写真集

3名のホームステイ生は、10日間、富山県内のたくさんの場所へ行き、貴重な体験をしました。その様子を写真でご紹介します。
ご多用中にも関わらず、受け入れをしてくださいましたホストファミリーの皆様、ご同行いただきました方々、また、行事にご参加くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。
今後とも、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



富山空港到着後阪神化成工業で昼食



とやま自遊館にて歓迎会



バスに乗って立山・室堂へ



天候にも恵まれました



富山市 森市長 表敬訪問



当協会顧問 北日本新聞 板倉社長表敬訪問



富山ガラス工房にて作品制作



丁寧に教えていただきました



富山県中央植物園見学



長江様宅にて茶道を教えていただきました



華道にも挑戦しました



浴衣がとっても似合っていました



伊勢副会長のレストランで食事をいただきました



国宝 瑞龍寺を訪れました



富山大学の学生との交流



大学食堂で一緒に昼食

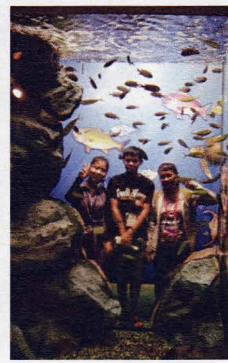
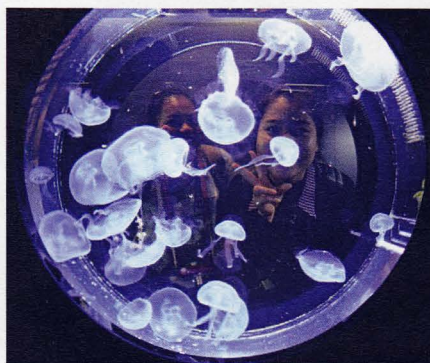
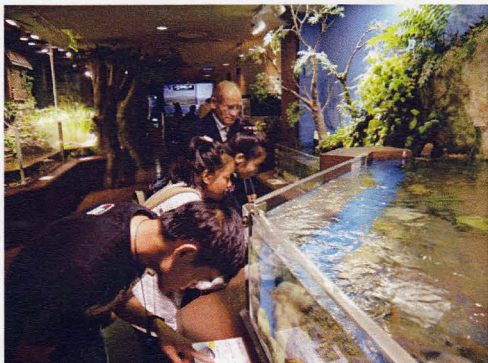


㈱タイワ精機訪問 みなさんにお出迎えいただき感謝しました



餅つきを体験しきたてのお餅をいただきました





高岸副会長に魚津を案内していただきました 初めての水族館！！



大観覧車に乗りました



宮崎海岸でひすい探し



富山第一ホテル 白楽天にて送別会



大泉中学校運動会 飛び入り参加！！

昨年5月より富山県カンボジア王国親善協会のお仲間に入れていただきましたが、私はカンボジアについての知識がほとんどなかったので、プトラ君と過ごした日々は本当に新鮮な驚きの連続でした。

モウン・ソペラシリプトラ君はプノンペン大学で中国語を学ぶ学生さんでした。大変日本語が流暢で、会話に全く不自由しないどころか、語彙の豊富さや日本文化についての知識、面白いジョークには感心させられっぱなしでした。

彼は小さいころから中国人の先生に付き、中国語と同時に反日感情をも教えられたそうですが、日本のアニメを好きになったのをきっかけで日本のこと調べていくうちに、偏った情報だったとわかり、以来日本のことをもっと知りたくなって日本語を勉強し、この度応募したとのことでした。それを聞き、是非日本を好きになって帰ってもらわなければと身が引き締まる思いがいたしました。

家には大学1年生の息子が帰省していたので、歳の近い二人はすぐに打ち解け、息子の高校時代の漢文の参考書を一緒に覗き込んで、お互いの国の勉強法について仲良く話をしていました。また前半、門前様にお風呂に連れて行っていただいてから湯船が好きになったそうで、毎晩喜んで入浴していました。日本の食事は何でも美味しいと食べてくれ、中でも『うどん』が大好きで、2回リクエストにお応えしました。更に帰国前夜、焼き鳥を食べてみたいとのことで焼き鳥屋に行きましたが、そこで試しに食べてみた『黒作り』を大変気に入る、丼ご飯をペロリと平らげたのにはびっくりしました。

プトラ君からは、今も私や息子に近況報告のメールが届きます。現在は前から学びたかったカンボジアの古い建造物の工法を研究しているとのこと。素直で優秀で高い志を持った彼が、日本の思い出を胸に、将来のカンボジアを担う人としてご活躍されることを、親善協会の皆様と共に日本のお母さんとして心から応援したいと思っています。



カニカーはいつも「ありがとう」を忘れず、笑顔の素敵な人でした。率先して家事をお手伝いしてくれました。日本のことが大好きで、日本の文化や歴史、生活習慣など多くのことに興味を持っていました。私達は多くのことを語り合いました。でも私はカンボジアの言葉がクメール語だとも知らなかったのも、もちろん話せないし英語も得意ではないので、カニカーの少しの日本語と私の片言の英語と、後はひたすらスマホで言葉を検索しながらの会話でした。それでも楽しくて、あっという間に時間が過ぎていきました。私たち家族は、カニカーに少しでも楽しく過ごしてもらいたくて、色々な事を考えました。カニカーが柔道に興味があると言ったので、柔道と少林寺拳法を体験してもらいました。カニカーも私もEXILEが好きで、一緒にカラオケに行きました。日本の歌がとても上手だったことに驚き、日本のことをよく知っていることに感動しました。言葉も十分通じない、文化も違う、それでもお互い分かり合おうとすればいつでも心はふれあう事ができる・・・そんなうれしい気持ちになった時間でした。

素敵な体験ができたことに感謝し、お世話してくださった皆様、本当にありがとうございました。



事業報告(経過報告)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- H28. 4. 14 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。
第9回定時総会について協議。
5. 12 富山第一ホテルに於いて、第9回定時総会及びチア・キムター大使
歓迎晩餐会を開催。
晩餐会において大使にスピーチをしていただく。
5. 13 大使を五箇山合掌村にご案内し、北陸新幹線にて東京へお帰りいただく。
7. 27 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。
ホームステイ受け入れ事業について協議。
8. 26 5回目の「ホームステイ受け入れ事業」にカンボジア日本人材開発
センターから派遣された2名の学生と1名の事務局員が富山に滞在する。
5. 4 会員の各家庭に宿泊し、交流を深める。
11. 9 チア・キムター大使より要請があり、在日本カンボジア王国大使館へ
カンボジア独立記念日の広告協賛をする。
11. 13 富山駅自由通路、CICビルで行われた国際交流フェスティバルに参加し、
カンボジア王国及び協会のPRをする。
12. 14 富山第一ホテルに於いて、理事会を開催。
ホームステイ事業の報告を行う。

国際交流フェスティバルに参加

平成28年11月13日(日)

毎年富山駅自由通路やCICビルで開催される「国際交流フェスティバル2016」に今回も参加しました。
ブースには大勢の方々が来て下さり、掲示した写真を見たり、会報を手にとってカンボジアについて質問をされたりしました。



編集後記

今回も皆様のご協力のもと、会報第9号を発行することが出来ました。

チア・キムター大使歓迎晩餐会やホームステイ事業など、多くの会員の皆様にご協力いただきありがとうございました。

今年度もよろしくお願い申し上げます。(事務局)

